

なまけないもん

ICCD最終報告

背景

前学期iccdにて、“なまけもん”を作製

→”寂しさの解消”をテーマに快適さを求めた



＞逆に刺激として短時間の不快感を与えることで最終的に快適感を得られる、或いは作業の集中の持続向上に繋がられるのでは？

例:集中が途切れ眠気の来るタイミングで刺激を与える

テーマ:集中してデスクワークを続けるための補助

ターゲット

学生・社会人

→デスクワーク・勉強などを集中して続ける必要のある層

概要

- ・クッション型

→前学期のようにソファ全体を作製するのではなく、既存の椅子の座面に設置

- ・座った時にコンプレッサーを用いて座面の形状を変化させる

→プロトタイプのため機能は少なめ

有効性について

刺激として座面の形状を変化させるのは

快適さを得るのに有効であるのか？

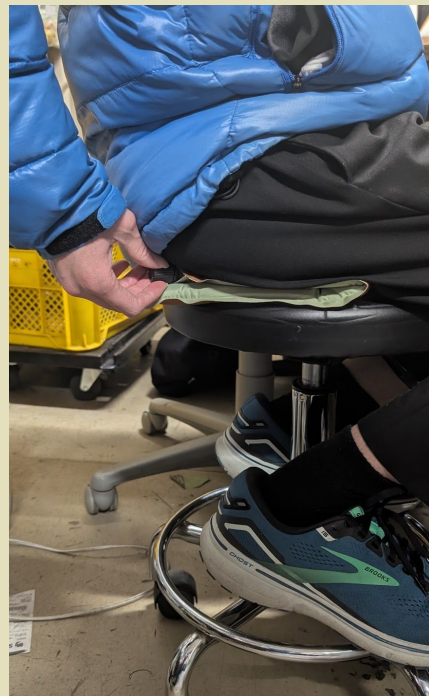
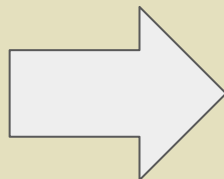
検証

検証内容

座面に座ったタイミングで座面部の形状を変える機構により刺激を与え、
それが通常の椅子と比べ快適に感じられるか否かを複数人に問う

仮説

人間は刺激を受けるなどで硬直した後脱力すると通常よりもリラックスできる
⇒通常より快適に感じるのでは？





- 少しリラックスできた気がする
- 体温が上がった気がする
- ブーブークッションみたい

将来性・拡張性

今回はプロトタイプとしてコンプレッサによる座面形状変化機構のみを用意した

他の方法で刺激を与える方法も複数考えられる

→温度変化は？送風は？

この点も改良が可能かもしれない